第二十六号様式（第四条の八、第四条の十一の二関係）

|  |  |
| --- | --- |
| 検査の特例 | 有　・　無 |
| 第一希望日 |  |
| 第二希望日 |  |
| 事務所名 |  |
| 担当者名 |  |
| 連絡先　会社 － －  　　　　携帯 － － | |

中間検査申請書

(第一面)

建築基準法第7条の3第1項又は第7条の4第1項（これらの規定を同法第87条の4又は

第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定により、検査を申請します。申請に

あたっては、株式会社CI東海確認検査業務約款を遵守します。又、この申請書及び添付図

書に記載の事項は、事実に相違ありません。

株式会社　ＣＩ東海

　代表取締役　柴田　和幸　様

令和　　年　　月　　日

申請者氏名

第四面に記載の事項は、事実に相違ありません。

工事監理者氏名

【検査を申請する建築物等】

　　□建築物　　 □建築設備(昇降機)　　 □建築設備(昇降機以外)

　　□工作物(昇降機)　　 □工作物(法第88条第1項)

(注意)※印のある欄は記入しないでください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ※手数料欄 | | | | |
| ※受付欄 | ※検査の特例欄 | ※検査欄 | ※決裁欄 | ※中間検査合格証欄 |
| 令和 年 月 日 | 有(1・3・4)・無 |  |  | 令和　　年　　月　　日 |
| 第　　　　 　号 | 第Ｒ　　　確合建築CI東海  　　 号 |
| 係員氏名 | 係員氏名 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ※中間検査結果報告欄  　検査年月日　　　　　　　令和　　年　　月　　日  　検査に関する特記事項  　検査結果：　合格　・　不合格　　　　　　　　確認検査員氏名： | | | |
| 【建築場所】 | | | |
|  | | | |
| ※【交付メモ欄】 | | | |
| □本　社  □岡　崎 | □電　子  □手渡し  □郵　送  (郵送日　 / 　) | □建築主  □代理者  □その他(　　 　　) | ※【受領サイン欄】受領日・事務所名・氏名  　　　年　　月　　日 |

（第二面）

建築主、設置者又は築造主等の概要

【1.建築主】

　【ｲ.氏名のﾌﾘｶﾞﾅ】

　【ﾛ.氏名】

　【ﾊ.郵便番号】　　　　－

　【ﾆ.住所】

　【ﾎ.電話番号】　　　　―　　　　―

【2.代理者】

　【ｲ.資格】　　　　（　　　　）建築士　　　　（　　　　　　　）　登録第　　　　　　　号

　【ﾛ.氏名】

　【ﾊ.建築士事務所名】（　　　）建築士事務所　（　　　　）　知事登録　第　　　　　　　 号

　【ﾆ.郵便番号】　　　　―　　　　―

　【ﾎ.所在地】

　【ﾍ.電話番号】　　　　―　　　　―

【3.設計者】

　（代表となる設計者）

　【ｲ.資格】　　　　（　　　　）建築士　　　　（　　　　　　　）　登録第　　　　　　　号

　【ﾛ.氏名】

　【ﾊ.建築士事務所名】（　　　）建築士事務所　（　　　　）　知事登録　第　　　　　　　 号

　【ﾆ.郵便番号】　　　　―　　　　―

　【ﾎ.所在地】

　【ﾍ.電話番号】　　　　―　　　　―

　【ﾄ.作成した設計図書】

　（その他の設計者）

　【ｲ.資格】　　　　（　　　　）建築士　　　　（　　　　　　　）　登録第　　　　　　　号

　【ﾛ.氏名】

　【ﾊ.建築士事務所名】（　　　）建築士事務所　（　　　　）　知事登録　第　　　　　　　 号

　【ﾆ.郵便番号】　　　　―　　　　―

　【ﾎ.所在地】

　【ﾍ.電話番号】　　　　―　　　　―

　【ﾄ.作成した設計図書】

　【ｲ.資格】　　　　（　　　　）建築士　　　　（　　　　　　　）　登録第　　　　　　　号

　【ﾛ.氏名】

　【ﾊ.建築士事務所名】（　　　）建築士事務所　（　　　　）　知事登録　第　　　　　　　 号

　【ﾆ.郵便番号】　　　　―　　　　―

　【ﾎ.所在地】

　【ﾍ.電話番号】　　　　―　　　　―

　【ﾄ.作成した設計図書】

　【ｲ.資格】　　　　（　　　　）建築士　　　　（　　　　　　　）　登録第　　　　　　　号

　【ﾛ.氏名】

　【ﾊ.建築士事務所名】（　　　）建築士事務所　（　　　　）　知事登録　第　　　　　　　 号

　【ﾆ.郵便番号】　　　　―　　　　―

　【ﾎ.所在地】

　【ﾍ.電話番号】　　　　―　　　　―

　【ﾄ.作成した設計図書】

【4.工事監理者】

（代表となる工事監理者）

　【ｲ.資格】　　　　（　　　　）建築士　　　　（　　　　　　　）　登録第　　　　　　　号

　【ﾛ.氏名】

　【ﾊ.建築士事務所名】（　　　）建築士事務所　（　　　　）　知事登録　第　　　　　　　 号

　【ﾆ.郵便番号】　　　　―　　　　―

　【ﾎ.所在地】

　【ﾍ.電話番号】　　　　―　　　　―

　【ﾄ. 工事と照合した設計図書】

（その他の工事監理者）

【ｲ.資格】　　　　（　　　　）建築士　　　　（　　　　　　　）　登録第　　　　　　　号

【ﾛ.氏名】

【ﾊ.建築士事務所名】（　　　）建築士事務所　（　　　　）　知事登録　第　　　　　　　 号

【ﾆ.郵便番号】　　　　―　　　　―

【ﾎ.所在地】

【ﾍ.電話番号】　　　　―　　　　―

【ﾄ. 工事と照合した設計図書】

【ｲ.資格】　　　　（　　　　）建築士　　　　（　　　　　　　）　登録第　　　　　　　号

【ﾛ.氏名】

【ﾊ.建築士事務所名】（　　　）建築士事務所　（　　　　）　知事登録　第　　　　　　　 号

【ﾆ.郵便番号】　　　　―　　　　―

【ﾎ.所在地】

【ﾍ.電話番号】　　　　―　　　　―

【ﾄ. 工事と照合した設計図書】

【ｲ.資格】　　　　（　　　　）建築士　　　　（　　　　　　　）　登録第　　　　　　　号

【ﾛ.氏名】

【ﾊ.建築士事務所名】（　　　）建築士事務所　（　　　　）　知事登録　第　　　　　　　 号

【ﾆ.郵便番号】　　　　―　　　　―

【ﾎ.所在地】

【ﾍ.電話番号】　　　　―　　　　―

【ﾄ. 工事と照合した設計図書】

【5.建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者】

（代表となる建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者）

　【ｲ.氏名】

　【ﾛ.勤務先】

【ﾊ.郵便番号】　　　　―　　　　―

【ﾆ.所在地】

【ﾎ.電話番号】　　　　―　　　　―

【ﾍ.登録番号】

【ﾄ.意見を聴いた設計図書】

（その他の建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者）

【ｲ.氏名】

　【ﾛ.勤務先】

　【ﾊ.郵便番号】　　　　―　　　　－

【ﾆ.所在地】

【ﾎ.電話番号】　　　　―　　　　―

【ﾍ.登録番号】

【ﾄ.意見を聴いた設計図書】

【ｲ.氏名】

【ﾛ.勤務先】

　【ﾊ.郵便番号】　　　　―　　　　―

【ﾆ.所在地】

【ﾎ.電話番号】　　　　―　　　　―

【ﾍ.登録番号】

【ﾄ.意見を聴いた設計図書】

【ｲ.氏名】

【ﾛ.勤務先】

　【ﾊ.郵便番号】　　　　―　　　　－

【ﾆ.所在地】

【ﾎ.電話番号】　　　　―　　　　―

【ﾍ.登録番号】

【ﾄ.意見を聴いた設計図書】

【6.工事施工者】

【ｲ.氏名】

【ﾛ.営業所名】　　建設業の許可　（　　　　　　　　　　　）　　第　　　　　　　　号

【ﾊ.郵便番号】　　　　―　　　　―

【ﾆ.所在地】

【ﾎ.電話番号】　　　　―　　　　―

【7.備考】

（第三面）

申請する工事の概要

【1.建築場所、設置場所又は築造場所】

　【ｲ.地名地番】

　【ﾛ.住居表示】

【2.工事種別】

　【ｲ.建築基準法施行令第10条各号に掲げる建築物の区分】　　　第　　　　　　　　号

　【ﾛ.工事種別】 □ 新築　　□ 増築　　□ 改築　　□ 移転

　　　　　 □ 大規模の修繕　　□ 大規模の模様替　　□ 建築設備の設置

　【ﾊ.建築基準法第68条の20第2項の検査の特例に係る認証番号】

【3.確認済証番号】 第　　　　　　　　　　　　　　　　号

【4.確認済証交付年月日】 令和　　年　　月　　日

【5.確認済証交付者】 株式会社ＣＩ東海　代表取締役

【6.工事着手年月日】 令和　　年　　月　　日

【7.工事完了予定年月日】 令和　　年　　月　　日

【8.特定工程】

　【ｲ.特定工程】

　【ﾛ.特定工程工事終了(予定)年月日】 令和　　年　　月　　日

　【ﾊ.検査対象床面積】 　　　　　　　　　　㎡

【9. 今回申請以前の中間検査】

　（　第　　　回　）

　【ｲ.特定工程】

　【ﾛ.中間検査合格証交付者】

　【ﾊ.中間検査合格証番号】

　【ﾆ.交付年月日】 令和　　年　　月　　日

　（　第　　　回　）

　【ｲ.特定工程】

　【ﾛ.中間検査合格証交付者】

　【ﾊ.中間検査合格証番号】

　【ﾆ.交付年月日】 令和　　年　　月　　日

【10.今回申請以降の中間検査】

　（　第　　　回　）

　【ｲ.特定工程】

　【ﾛ.特定工程工事終了予定年月日】 令和　　年　　月　　日

　（　第　　　回　）

　【ｲ.特定工程】

　【ﾛ.特定工程工事終了予定年月日】 令和　　年　　月　　日

【11.確認以降の軽微な変更の概要】

　【ｲ.変更された設計図書の種類】

　【ﾛ.変更の概要】

【12.備考】

（第四面）

工事監理の状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 確認を行った部位・材料の種類等 | 照会内容 | 照合を行った設計図書 | 設計図書の内容について設計者に確認した事項 | 照合方法 | 照合結果  (不適の場合には建築主に対して行った報告の内容) |
| 敷地の形状　、高さ、衛生及び安全 |  |  |  |  |  |  |
| 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)の種類、品質、形状及び寸法 |  |  |  |  |  |  |
| 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料の接合状況、接合部分の形状等 |  |  |  |  |  |  |
| 建築物の各部分の位置、形状及び大きさ |  |  |  |  |  |  |
| 構造耐力上主要な部分の防錆、防腐及び防蟻措置及び状況 |  |  |  |  |  |  |
| 特定天井に用いる材料の種類並びに当該特定天井の構造及び施工状況 |  |  |  |  |  |  |
| 居室の内装の仕上げに用いる建築材料の種別及び当該建築材料を用いる部分の面積 |  |  |  |  |  |  |
| 天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げの材料の種別及び厚さ |  |  |  |  |  |  |
| 開口部に設ける建具の種類及び大きさ |  |  |  |  |  |  |
| 建築設備に用いる材料の種類及びその照合した内容並びに当該建築設備の構造及び施工状況(区画貫通部の処理状況を含む) |  |  |  |  |  |  |
| 備考 |  | | | | | |

（第四面）

工事監理の状況（P1）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　［鉄筋コンクリート造］

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 確認を行った部位・材料の種類等 | 照会内容 | 照合を行った設計図書 | 設計図書の内容について設計者に確認した事項 | 照合方法 | 照合結果  (不適の場合には建築主に対して行った報告の内容) |
| 敷地の形状　、高さ、衛生及び安全 | 敷地  排水管、排水溝  擁壁  支持地盤 | 敷地境界杭、敷地形状及び寸法  道路との接続状況  設置状況、管径、形状  高低差、形状、寸法  地盤補強の必要性 | 配置図  附近見取図  各設備図  擁壁図、伏図、  地盤調査報告書 | なし | 工事着手前に  現場確認及び  工程終了時に  現場で照合 | 適 |
| 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)の種類、品質、形状及び寸法 | 杭(材料)  鉄筋  アンカーボルト  コンクリート | 種類、工法、支持層  材料、種類、規格、  品質、形状、寸法  材料、種類、規格、品質  ・四週圧縮強度  （検査者：  ｻﾝﾌﾟﾙ数：　　　　回/　 　㎥  試験結果：　合格　）  ・塩化物量  （検査者：  ｻﾝﾌﾟﾙ数：　　　　　回  試験結果：　合格　）  ・アルカリ骨材反応  （検査者：  ｻﾝﾌﾟﾙ数：　　　　　回  試験結果：　合格　） | 基礎伏図  構造詳細図  仕様書  断面図 | なし | 納品書による書類審査  ミルシートによる書類審査、  配合計画書による書類審査  工程終了時に現場で照合  試験結果の確認 | 適 |
| 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料の接合状況、接合部分の形状等 | 基礎  杭  柱  梁(小梁含む)  継手  床版  (べた基礎含む)  壁、耐力壁  界壁  階段 | 位置、形状、寸法  配筋の本数、配置  杭頭の処理、補強  杭の余盛り（100cm）  杭のかぶり厚さ、偏心距離  主筋の本数、径、位置  柱主筋の定着  ﾌｰﾌﾟの径、ﾋﾟｯﾁと位置  柱のかぶり厚さ  打込み欠陥部の有無  主筋の本数、径、位置  主筋の定着  あばら筋の径、位置  梁のかぶり厚さ  貫通孔の位置と補強方法  打込み欠陥部の有無  重ね継手の長さ、位置  ガス圧接継手の形状と位置  圧接内部欠陥検査  （検査者：  　 資格：  ｻﾝﾌﾟﾙ数 ： 　　　　箇所/ﾛｯﾄ  試験結果：　合格　）  特殊継手の形状、位置  主筋の向き、径、  間隔、位置  主筋の定着と継手  出入隅部、開口部等の補強  床版のかぶり厚さ  打込み欠陥の有無  壁筋の径、間隔、定着、継手  開口部の補強  ｽﾘｯﾄの位置、種類、施工状況  壁のかぶり厚さ  打込み欠陥部の有無  仕上  主筋の本数、径、定着 | 基礎伏図  構造詳細図  杭伏図  床伏図  仕様書  別紙要領書  梁断面リスト  構造計算図別紙要領書  別紙要領書  評定時仕様  床版リスト  別紙要領書  軸組図  壁リスト  別紙要領書 | なし | 工程終了時に現場で照合  試験結果を確認 | 適 |
| 建築物の各部分の位置、形状及び大きさ | 基礎、土台  杭  柱  梁  床(床版)  屋根  壁、耐力壁  界壁  廊下、階段  建築物全体 | 位置、形状、寸法  配筋の本数、配置  偏心距離  柱の位置、形状、寸法  梁の位置、形状、寸法  位置、形状、寸法  （開口部の位置）  屋根の位置、形状、寸法  位置、壁の種類(耐力壁、  その他の壁）,位置,形状,寸法、  仕上及び開口部の位置  位置、形状、寸法  平面・断面形状、建築物の高さ | 基礎伏図  構造詳細図  断面図  平面図  壁リスト  床伏図  軸組図  階段詳細図  配置図 | なし | 工程終了時に現場で照合 | 適 |
| 構造耐力上主要な部分の防錆、防腐及び防蟻措置及び状況 | 鉄筋 | かぶり厚さ | 仕様書  構造図 | なし | 工程終了時に現場で照合 | 適 |

註1　この書類に記載すべき事項を含む報告書を別に添付すれば、この書類を別途提出するに必要はありません。

註2　申請建築物が複数の構造方法からなる場合には、それぞれの構造の部分ごとに記載して下さい。

２０１２年版　日本建築行政会議編集を参考

工事監理の状況（P2）　　　　　　　　　(第四面)　　［鉄筋コンクリート造］　[鉄骨造]　[木造]　共通

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 確認を行った部位・材料の種類等 | 照会内容 | 照合を行った設計図書 | 設計図書の内容について設計者に確認した事項 | 照合方法 | 照合結果  (不適の場合には建築主に対して行った報告の内容) |
| 特定天井に用いる材料の種類並びに当該特定天井の構造及び施工状況 | 天井材  天井受け材 | （特定天井の対象は、天井高さ6m以上、天井面積200㎡以上）  天井下地、天井受けの構造材、  天井と壁面のクリアランス | 仕様書  仕上げ表  天井伏図  構造図 | なし |  |  |
| 居室の内装の仕上げに用いる建築材料の種別及び当該建築材料を用いる部分の面積 | 内装仕上げ材料  天井材  壁材  床材  塗装材  建具  造り付け家具  その他 | （居室に使用する内装材料が全て  F☆☆☆☆であれば下記の記入は  不要です)  ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散材料の使用制限  下地及び仕上げ材の種類、 規格、  第一種ホルムアルデヒドの発散材料  不使用の確認  第二種ホルムアルデヒド発散材料材  使用面積の計測　　　　　㎡  第三種ホルムアルデヒド発散材料  使用面積の計測　　　　　㎡ | 建築材料表  仕上表  平面図  展開図 | なし | 納品書による書類審査  受け入れ時及び  工程終了時に現場で照合  目視、面積計測  （F☆☆☆☆を確認） | 適 |
| 天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げの材料の種別及び厚さ | 天井  壁 | （内装制限を受ける、室等の  仕上材について照合します）  種類、仕上げ状況 | 仕様書、仕上表、  断面図 | なし | 納品書による書類審査  受け入れ時及び  工程終了時に現場で照合 | 適 |
| 開口部に設ける建具の種類及び大きさ | 外部開口部  内部開口部 | （防火設備の設置が義務付けられて  いる部分,法28条第1項の規程を受  ける部分（採光）,及び法35条の適  用を受ける部分（排煙設備、進入  口等）について照合します）  形状、寸法、開閉方法  材質、防火設備の種類 | 仕様書、仕上表、  平面図、立面図、  断面図、建具表 | なし | 納品書による書類審査  受け入れ時及び  工程終了時に現場で照合 | 適 |
| 建築設備に用いる材料の種類及びその照合した内容並びに当該建築設備の構造及び施工状況(区画貫通部の処理状況を含む) | 配管、配線  配管等の区画  貫通部  給排水設備  衛生設備  電気設備  照明設備  換気設備(居室)  換気経路  消防設備  (住宅用防災機器)  ガス設備  浄化槽設備  太陽光設備 | 種類、形状、寸法、設置位置  貫通部分の補強  防火措置  漏水検査  機器性能  非常照明設置状況  換気風量等  給気口位置  排気機の位置及び性能  扉の種類、  開き戸のアンダーカットの有無  天井裏、小屋裏換気  台所、寝室、階段、煙・熱感知器 | 特記仕様書  構造図  仕様書  各設備図  器具リスト  告示、大臣認定  仕上表  換気計算書  立面図  建具表、展開図  矩計図  断面図  平面図 | なし | 納品書による書類審査  受け入れ時の製品の確認  及び機器取付け時に  現場で照合 | 適 |
| 備考  上記に書き表せない事項で特に報告すべき事項を記入して下さい |  | | | | | |

註1　この書類に記載すべき事項を含む報告書を別に添付すれば、この書類を別途提出するに必要はありません。

註2　申請建築物が複数の構造方法からなる場合には、それぞれの構造の部分ごとに記載して下さい。

２０１２年版　日本建築行政会議編集を参考

（第四面）

工事監理の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　［鉄骨造］

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 確認を行った部位・材料の種類等 | 照会内容 | 照合を行った設計図書 | 設計図書の内容について設計者に確認した事項 | 照合方法 | 照合結果  (不適の場合には建築主に対して行った報告の内容) |
| 敷地の形状　、高さ、衛生及び安全 | 敷地  排水管、排水溝  擁壁  支持地盤 | 敷地境界杭、敷地形状及び寸法  道路との接続状況  設置状況、管径、形状  高低差、形状、寸法  地盤補強の必要性 | 配置図  附近見取図  各設備図  擁壁図、伏図､  地盤調査報告書 | なし | 工事着手前に現場確認及び  工程終了時に現場で照合 | 適 |
| 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)の種類、品質、形状及び寸法 | 杭(材料)  鉄筋  鉄骨・鋼材  アンカーボルト  高力ボルト  コンクリート | 種類、工法、支持層  材料、種類、規格、  表面仕上、圧縮材の有効細長比  品質、形状、寸法、ボルト孔の径  材料、種類、規格、品質  ・四週圧縮強度  ・塩化物量  ・アルカリ骨材反応 | 基礎伏図  構造詳細図  仕様書  断面図 | なし | 受入時及び  工程終了時に現場で照合  納品書による書類審査  ミルシートによる書類審査,  配合計画書による書類審査 | 適 |
| 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料の接合状況、接合部分の形状等 | 基礎  杭  鉄骨・鋼材  （柱,梁,桁,ブレス  ,デッキ材）  基礎梁  溶接(工場)  高力ボルト接合部  床スラブ | 位置、形状、寸法  配筋の本数、配置  杭頭の処理、補強  杭の余盛り(100cm)  杭のかぶり厚さ、偏心距離  材料、種類、規格、品質  形状、寸法  貫通孔の位置と補強方法  重ね継手の長さ、位置  ガス圧接継手の形状と位置  圧接内部欠陥検査  （検査者：  　 資格：  ｻﾝﾌﾟﾙ数 ： 　　　箇所/ ロット  試験結果：　合格　）  特殊継手の形状、位置  製作工場(大臣認定)  製作精度  溶接部検査(VT及びUT)  （検査者：  　 資格：  ｻﾝﾌﾟﾙ数 ： 　　　箇所/ ロット  試験結果：　合格　）  接合面の処理、接合状況  スタッドボルトの状況 | 基礎伏図  構造詳細図  杭伏図  仕様書  別紙要領書  梁断面リスト  製作要領書  検査要領書  作業要領書 | なし | 受入時及び  工程終了時に現場で照合  納品書による書類審査  ミルシートによる書類審査,  要領書・報告書の確認  試験結果を確認  （型式認定住宅は品質  検査納品書で確認) | 適 |
| 建築物の各部分の位置、形状及び大きさ | 基礎、土台  杭  柱  梁  デッキ  床・壁・階段 | 位置、形状、寸法  偏心距離  柱の位置、形状、寸法  梁の位置、形状、寸法  デッキの位置、形状、寸法、  方向及び開口部の位置  形状、厚さ | 基礎伏図  杭伏図  床伏図  軸組図  構造詳細図  断面図  平面図  階段詳細図 | なし | 受入時及び  工程終了時に現場で照合  デッキの規格、形状等  取り付け工法等の確認  ささら桁等のサイズ | 適 |
| 構造耐力上主要な部分の防錆、防腐及び防蟻措置及び状況 | 鉄骨部材 | 防錆塗装を確認 | 構造図  仕様書 | なし | 工程終了時に現場で照合 | 適 |

註1　この書類に記載すべき事項を含む報告書を別に添付すれば、この書類を別途提出する必要はありません。

註2　申請建築物が複数の構造方法からなる場合には、それぞれの構造の部分ごとに記載してください。

２０１２年版　日本建築行政会議編集を参考

（第四面）

工事監理の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　［木造］

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 確認を行った部位・材料の種類等 | 照会内容 | 照合を行った設計図書 | 設計図書の内容について設計者に確認した事項 | 照合方法 | 照合結果  (不適の場合には建築主に対して行った報告の内容) |
| 敷地の形状　、高さ、衛生及び安全 | 敷地  排水管、排水溝  擁壁  支持地盤 | 敷地境界杭、敷地形状及び寸法  道路との接続状況  設置状況、管径、形状  高低差、形状、寸法  地盤補強の必要性 | 配置図  詳細図  各設備図  擁壁図、伏図、  地盤調査報告書 | なし | 工事着手前に現場確認及び  工程終了時に現場で照合 | 適 |
| 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)の種類、品質、形状及び寸法 | 木材  鉄筋、接合金物  アンカーボルト  コンクリート  屋根材、外壁材  天井材、耐力壁材 | 材料、種類、規格、仕上げ  品質、形状、寸法  ・四週圧縮強度  ・塩化物量  ・アルカリ骨材反応  不燃・防火材料 | 各階伏図  基礎伏図  仕様書  断面図  仕上表  立面図  矩計図  小屋伏図  告示、大臣認定 | なし | 納品書による書類審査  ミルシートによる書類審査,  配合計画書による書類審査  工程終了時に現場で照合 | 適 |
| 主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料の接合状況、接合部分の形状等 | 基礎  基礎鉄筋の  接合部分  柱と梁の接合部分  筋違又は耐力壁  端部の 接合部分  柱と土台の  接合部分  土台と基礎の  接合部分  階段と受け梁 | アンカーボルトの位置、寸法  継手の状況  重ね長さ  接合状況  接合金物 | 基礎配筋図  構造詳細図  各階伏図  矩計図 | なし | 工程終了時に現場で照合 | 適 |
| 建築物の各部分の位置、形状及び大きさ | 基礎  土台  柱  梁  筋かい  床  屋根  壁、耐力壁  廊下、階段  建築物全体 | 位置、形状、寸法、配筋の本数、  配置、配筋のかぶり厚さ  通し柱の状況  欠き込みの有無  欠き込み、補強の状況  火打ち材の配置  防水対策の状況  仕上及び開口部の位置  平面・断面形状、建築物の高さ | 配置図  基礎伏図  平面図  土台伏図  各階伏図  立面図 | なし | 受け入れ時及び  工程終了時に現場で照合 | 適 |
| 構造耐力上主要な部分の防錆、防腐及び防蟻措置及び状況 | 地盤面から１ｍ  以内の部分の  土台、柱、筋かい  外壁の下地 | 防腐、防蟻処置の状況  防水措置の状況 | 立面図  矩計図 | なし | 納品書による書類審査  受け入れ時及び  工程終了時に現場で照合 | 適 |

註1　この書類に記載すべき事項を含む報告書を別に添付すれば、この書類を別途提出する必要はありません。

註2　申請建築物が複数の構造方法からなる場合には、それぞれの構造の部分ごとに記載してください。

２０１２年版　日本建築行政会議編集を参考

（注意）

１.各面共通関係

　数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

２．第一面関係

　①　｢検査を申請する建築物等｣の欄は、該当するチェックボックスに｢レ｣マークを入れてください。建築基準法第88条第2項第1号に掲げるものにあっては、｢工作物(昇降機)｣のチェックボックスに｢レ｣マークを入れてください。

　②　※印のある欄は記入しないでください。

３.第二面関係

　①　建築主、設置者又は築造主が２以上のときは、１欄は代表となる建築主、設置者又は築造主について記入し、別紙に他の建築主、設置者又は築造主についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。

　②　建築主、設置者又は築造主からの委任を受けて申請を行う者がいる場合においては、２欄に記入してください。

　③　２欄、３欄及び５欄は、代理者、設計者又は工事監理者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所に属していないときは、所在地はそれぞれ代理者、設計者又は工事監理者の住所を書いてください。

　④　３欄、４欄及び５欄は、それぞれ代表となる設計者、工事監理者及び建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者並びに申請に係る建築物に係る他のすべての設計者、工事監理者及び建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者について記入してください。記入欄が不足する場合には、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

　⑤　5欄は、建築士法第20条第５項に規定する場合（工事監理に係る場合に限る。）に、同項に定める資格を有する者について記入し、所在地は、その者が勤務しているときは勤務先の所在地を、勤務していないときはその者の住所を、登録番号は建築士法施行規則(昭和25年建設省令38号)第17条の35第1項の規定による登録を受けている場合の当該登録番号を書いてください。

　⑥　６欄は、工事施工者が2以上のときは、代表となる工事施工者について記入し、別紙に他の工事施工者について棟別にそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。

　⑦　建築物又は工作物の名称又は工事名が定まっているときは、7欄に記入してください。

４.第三面関係

　①　住居表示が定まっているときは、1欄の｢ロ｣に記入してください。

　②　2欄の｢イ｣は、建築物が建築基準法施行令第10条各号に掲げる建築物に該当する場合に、当該各号の数字を記入してください。

　③　2欄の｢ロ｣は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

　④　2欄の｢ハ｣は、認証型式部材等製造者が製造した当該認証に係る型式部材等を有する場合に、その認証番号を記載してください。

　⑤　3欄、4欄及び5欄は、計画変更の確認を受けている場合は直前の計画変更の確認について記載してください。

　⑥　8欄の｢ハ｣は、検査対象となる部分の床面積の合計に相当する面積を記入してください。

　⑦　9欄及び10欄は、記入欄が不足する場合には、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

　⑧　11欄は、軽微な設計変更が２以上あるときは、その一について記入し、別紙にその他の軽微な設計変更について、必要な事項を記入して添えてください。

　⑨　11欄の｢ロ｣は、変更の内容、変更の理由等の概要を記入してください。

　⑩　11欄は、既に中間検査を受けたものにあっては、この申請を直前の中間検査を申請した建築主事に対して行う場合には、確認から直前の中間検査までに生じた軽微な設計変更の概要について記入する必要はありません。また、それ以外の場合で、確認から直前の中間検査までに生じた軽微な設計変更の概要についてこの欄に記載すべき事項を記載した書類を別に添付すれば、その部分について記入する必要はありません。

　⑪　11欄は、申請建築物について変更後も建築物の計画が建築基準関係規定に適合することが明らかなことが確かめられた旨の図書を添えてください。

５.第四面関係

　①　申請建築物(建築基準法第7条の5及び第68条の20第2項(建築物である認証型式部材等に係る場合に限る。)の適用を受けず、かつ、建築士法第3条から第3条の3までの規定に含まれないものを除く。以下同じ。)に関する当該特定工程に係る工事までの工事監理の状況について記載してください。ただし、既に中間検査を受けたものにあっては、この申請を直前の中間検査を申請した建築主事に対して行う場合には、確認から直前の中間検査までの工事監理の状況について記入する必要はありません。また、それ以外の場合で、確認から直前の中間検査までの工事監理の状況についてこの書類に記載すべき事項を記載した書類を別に添付すれば、その部分について記入する必要はありません。

　②　申請建築物が複数の構造方法からなる場合には、それぞれの構造の部分ごとに記載してください。

　③　接合状況のうち、鋼材等の金属材料の溶接又は圧接部分に係る内部欠陥の検査、強度検査等の確認については、当該部分に係る検査を行った者の氏名及び資格並びに当該検査に係るサンプル数及びその結果を記載してください。

　④　材料のうち、コンクリートについては、四週圧縮強度、塩化物量、アルカリ骨材反応等の試験又は検査(以下｢試験等｣という。)を行った者、試験等に係るサンプル数及び試験等の結果について記載してください。

　⑤　｢特定天井に用いる材料の種類並びに当該特定天井の構造及び施工状況｣は、建築基準法施行令第39条第3項、第81条第1項第3号、第82条の5第7号又は第137条の2第1号イ(3)の規定の適用を受ける部分について記載してください。

　⑥　｢居室の内装の仕上げに用いる建築材料の種別及び当該建築材料を用いる部分の面積｣は、建築基準法施行令第20条の7第1項第1号に規定する内装の仕上げに用いる建築材料の種別並びに当該建築材料を用いる内装の仕上げの部分及び当該部分の面積について記載してください。

　⑦　｢天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げ｣は、建築基準法第35条の2の規定の適用を受ける部分について記載してください。

　⑧　｢開口部｣は、防火設備の設置が義務付けられている部分、建築基準法第28条第1項の規定の適用を受ける部分及び同法第35条の適用を受ける部分について記載してください。

　⑨　施工図、工場の検査記録その他照合に必要な図書を用いて設計図書と申請建築物との照合を行った場合、｢照合内容｣に記載した内容に応じ、｢照合方法｣にその方法を全て記載して下さい。

　⑩　｢照合結果｣は、｢適｣・｢不適｣のいずれかを記入し、工事施工者が注意に従わなかった場合には｢不適｣を記入してください。また、不適の場合には建築主に対して行った報告の内容を記載してください。

　⑪　ここに書き表せない事項で特に報告すべき事項は、備考欄又は別紙に記載して添えてください。

　⑫　建築基準法施行令第121条の２の規定の適用を受ける直通階段で屋外に設けるものがある場合には、当該直通階段が木造であるか否かについて、備考欄に記載してください。また、当該直通階段が木造である場合には、(注意)５.⑨及び⑩を参酌して、当該直通階段に用いる材料の種類並びに当該直通階段の構造、防腐措置及び施工状況に関する照合内容、照合方法並びに照合結果について、併せて同欄に記載してください。

　⑬　この書類に記載すべき事項を含む報告書を別に添付すれば、この書類を別途提出する必要はありません。